

さとし

議会だより

No.116

2024.4.30



岡山県 里庄町議会



わたしのクラスどこかな(東幼稚園)

賛成多数で可決

賛成8：反対1

令和6年度

歳入

◆内訳（主な内容）

費目	金額	割合(%)
町税	14億9295万円	25.2
地方交付税	13億7900万円	23.3
国庫支出金	7億2923万円	12.3
県支出金	3億6077万円	6.1
使用料及び手数料・寄附金など	4億5224万円	7.6
繰入金	5億466万円	8.5
町債	5億1639万円	8.7

歳出

◆内訳（主な内容）

費目	金額	割合(%)
民生費	18億409万円	30.4
総務費	8億1306万円	13.7
土木費（下水道費を含む）	7億5289万円	12.7
教育費	8億4817万円	14.3
消防費	2億9104万円	4.9
農林水産業費	2億4311万円	4.1
公債費	4億24万円	6.8

（歳入・歳出は四捨五入しています）

令和6年度 里庄町の各会計予算

会計名	金額
一般会計	59億2935万円
国民健康保険特別会計	11億1616万円
介護老人保健施設特別会計	7090万円
介護保険特別会計	12億5193万円
後期高齢者医療特別会計	2億3183万円
育英奨学資金給与特別会計	124万円
町営墓地特別会計	521万円
水道事業会計	3億7372万円
公共下水道事業会計	8億4507万円

3月

定例会

令和6年第2回定例会は3月1日から15日までの会期で行われました。議案は条例の制定3件、条例の一部改正5件、令和5年度補正予算4件、令和6年度予算9件、令和6年度補正予算1件、道路認定1件、人事案件2件など26件が上程されすべて原案通り可決・同意されました。

令和5年度及び6年度の補正予算、並びに令和6年度の予算は予算決算委員会に付託され審査を行いました。なお、一般質問には8人が登壇し、町の姿勢や考えを問いました。

令和6年度
一般会計

予算総額

59億2935万円

令和5年度一般会計補正予算6054万円は賛成多数で可決
令和6年度一般会計補正予算149万円は全会一致で可決



おはようございます(東小学校)

令和6年度 主な事業

●ふるさと納税事業	1億7500万円	●公共下水道整備事業	2億9956万円
●まちづくり補助金	1084万円	●科学振興仁科財団補助金	2351万円
●国民健康保険繰出金	6829万円	●母子保健にかかわる事業費	3221万円
●障害福祉事業扶助費	2億9932万円	●学童保育運営補助金	3026万円
●児童発達支援事業	1億980万円	●子ども医療費 扶助費	7000万円
●高齢者タクシー料金助成事業	1155万円	●廃棄物収集委託料	6505万円
●保育園施設給付事業	4億1516万円	●駅周辺地区バリアフリー等整備にかかる委託料	1970万円
●健康増進事業検診委託料	2288万円	●生活支援員配置事業	4548万円
●水路等改修工事費	1億2900万円	●つばきの丘運動公園施設等改修工事	5500万円
●道路新設改良事業	1億6000万円		

補正

令和5年度補正予算4件及び令和6年度補正予算1件は予算決算委員会で審査し、すべて原案通り可決しました。

令和5年度一般会計

主な補正内容

ふるさと納税事業

4450万円

償還金利子及び

割引料

4697万円

ふるさとづくり寄附金がさらに6000万円増額になり、返礼事務等の金額不足に対応。
令和5年度当初予算を5億1010万円に上方修正します。

コロナワクチンの接種を令和6年3月まで予定していましたが、令和5年12月で終了したため、未実施分を返金します。
また、令和5年度ワクチンコールセンターは、当初の予定を前倒し、12月末で閉鎖したため委託料を減額しました。

令和6年度一般会計

システム改修委託料

149万円

物価高騰による調整給付に必要な個人住民税の定額減税対応業務にかかるシステムの改修費用です。



風によって

質疑

減額理由は

仁科英議員 衛生費負担金8133万円減の理由は。

下水道負担金6800万円の減額は、一般財源振替と関係があるのか。

町民課長 ゴミステーション移設・下水道整備・町道拡幅の実績が少なかつたことによる減額。

上下水道課長 当初予算

は、6856万円だが、令和4年度事業で確定したのが、1702万円なので、減額した。

副町長 上下水道・町道拡幅は、進捗状況が進まなかつたため減額。その分、令和6年度の当初予算で計上する。

令和5年度 3月補正の結果

会 計 名	補正後の金額 (補正額)
一 般 会 計	62億8946万円 (6054万円)
国民健康保険特別	10億5987万円 (17万円)
後期高齢者医療特別	1億9040万円 (390万円)
町営墓地	713万円 (22万円)

質 疑

総括質疑は、1人が行い予算決算委員会に付託しました。

臨機応変な対応を

仁科英議員 農林水産業費348万円減額理由は、農業対策として、有効に荒廃地を再生する考えは。

農林建設課参事 農業委員のタブレットの通信費、草刈り機の利用料補助制度の実質に合わせ減額した。

令和6年度から、草刈り機を運搬する軽トラックの運用にも補助する。これからも継続して荒廃地対策、農業振興事業も行う。

仁科英議員 水路の維持補修費という費目がない。臨機応変にしてほしいが、どうか。

農林建設課長 農業用整備施設事業の工事請負費1億2900万円に計上している。分館の地域バランス・優先度を加味し、水路の修繕の予算を計上している。

仁科英議員 土木費全体では伸びているが、道路新設改良費が3700万円減額の理由は。

農林建設課長 大きな設計委託等の費用がなかった。用地購入費の減額は、令和5年度で購入できた。路線を加味しながら、研究した上で、予算計上している。

仁科英議員 工事請負費1900万円は昨年に比べ減額しているが、考え方は。

農林建設課長 分館要望優先度、危険性を加味し、何度も査定、話し合いなどした予算計上である。

仁科英議員 生活道路・都市計画道路は取り残されているがどうか。

町長 生活道路、水路等日常生活に直結しているの、できるだけ取り組んでいきたい。政策がスムーズにいくよう、限られた財源をどのように配分するか、現状、現実を見ながら予算編成をしている。

仁科英議員 正規職員数は定員満杯か。

総務課長 定員は10人増やし、まだ枠が残っている。

ここが反対！ 委託するべきではない

田辺博樹議員

里庄駅周辺地区バリアフリー基本構想策定業務委託料、里庄駅関連施設整備検討業務委託料について、何でも委託すればいいという考え方には反対。

駅周辺の開発においては、利用者が主役。アンケートを取って意見を集約し、よりよい駅にするべき。



どうなる里庄駅

町条例

里庄町未来を拓くふるさとまちづくり基金条例の制定

町の未来の創造に資する事業の実施に要する費用に充てるためのものです。

里庄町営有料駐車場条例の一部改正

駅裏西駐車場の一時的な車を廃止します。

地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

6か月以上任用の会計年度任用職員に対し、勤勉手当を支給するためのものです。

介護保険法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

介護保険制度の安定性・持続性を確保するため「居宅介護及び地域密着型サービスにおける事業の人員及び運営に関する基準省令が改正されたこと

に伴い、町条例を改正するものです。

里庄町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

放課後児童クラブは、利用者の安全の確保を図るため、安全計画を策定し、必要な措置を講じるよう義務付けられます。

里庄町介護保険条例の一部改正

第9期事業計画では第8期に比べ介護サービスにかかる費用が約3億円増加する見込みです。保険料の月額基準額5600円から6200円に引き上げます。

里庄町空家等の適切な管理に関する条例及び里庄町空家等対策協議会条例の一部改正

法律の一部改正により、条ずれが生じたことに伴う字句の改正です。

里庄町国民健康保険税条例の一部改正

激減緩和措置の補てんが令和5年度で終了に伴い、県への納付金の増額など財政確保のため、税率の見直しを行います。税率見直しにより、一人当たり平均8500円(年額)の増額となります。

質疑

里庄町未来を拓くふるさとまちづくり基金条例の制定

基金にした目的は

仁科英議員 新しい基金は、今までもあるものと重複しているようだが、どのように考えて、目的基金にしているのか。

総務課長 将来のまちづくりの重要な拠点となる公共施設や福祉向上に資するような公共的施設を対象とし、建設や改修に充てる基金。

仁科英議員 財源は、決算剰余金の2分の1以下、ふるさと納税の残りを積み立てるとあるが、条例の書き方が狭い。

総務課長 将来これだけのお金が必要だから、何年かけて積むという目的を達するための基金になりにくいと思うが、どうか。

総務課長 基金の目標積立額は、今は計画もない。総額いくらか要るかわからない。

国・県の補助金など活用できるメニューを今後検討し、一般財源の負担を抑えながら建設したい。今後、積めるようであれば他の基金にも積んでいく。

老朽化による建て替えのためか

平野議員 老人センターと福祉会館の老朽化による建て替えのための基金条例の制定か。

総務課長 福祉会館、中央公民館の建て替えが第一の目的だが、教育施設以外の建物の建設、改修に当てるための基金条例の制定。

地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する
条例の制定

会計年度任用職員の責任は

仁科千議員 今回人事院

勧告ではなく地方自治法の一部を改正するが、各自治体で決めるものか。また、理由は何か。

総務課長 地方自治法の

表記は、勤勉手当を支給することができるとなっている。

国は、令和3年度までに勤勉手当を支給している。それをふまえて各自治体が勤勉手当の支給を決めている。

仁科千議員 今回の予算

に計上している勤勉手当の総額はいくらか。

総務課長 約2000万

円になる。働く時間の割合に応じて支給する。

仁科千議員 会計年度任

用職員にとつては、一般職と同じ責任と負担が増えるのでは。

副町長 働き方改革の環境で同一労働同一賃金という考えでやっている。

一般職は定年まで働ける。会計年度任用職員は一年が区切り。

しっかりと人事評価を行っている。

他とのバランスは

仁科英議員 会計年度任

用職員の勤勉手当の支給について、町はどう考えていくのか。

他の地方団体の状況は。

総務課長 全ての市町が

反映しているわけではないが、町としては、条例を改正する必要がある。

仁科英議員 会計年度任

用職員の時給はいくらか。また、シルバー人材センターなど他とのバランスはどうか。

総務課長 時給も含めて委員会場で説明する。

介護保険法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

ケアマネの負担は

佐藤議員 今までは、ケ

アマネージャー一人が35件までの担当だったが、44件に改めることになる

が負担が重くならないか。

健康福祉課長 直接的な

負担が増えるとは思っていない。

佐藤議員 各事業所任せ

にして、町として指導はできるのか。

健康福祉課長 事業所の都合で負担が増えてくる場合は、指導し、対応していく。

里庄町営有料駐車場条例の一部改正

駅裏東駐車場の協議を

仁科英議員 駅裏西駐車

場の一時駐車を廃止する。駅裏東第1駐車場の収

支は、大きな赤字。

駅裏西駐車場で理解を得られたのなら、駅裏東駐車場でも協議をしたらどうか。

総務課長 駅裏東第1駐

車場の一時駐車枠は、どうしても停めたいと思うときに、最終的にいくらかは必要。

駅裏東第1駐車場だけでも、できるだけ赤字が少なくなるように努力する。

急に東も西もということとは、今考えていない。今後、状況を見ながら検討していく。

ここが反対！ 加入者に押しつけるべき ではない

佐藤耕三議員

国保税の値上げは、国が本来すべき責任を放棄しその負担を加入者に押しつけようとするものであり、その姿勢に反対する。

ここが反対！ 政策のツケを押しつけるな

佐藤耕三議員

今でも厳しい生活が、より厳しいものになるのではないかと。少子・高齢化は分っていたこと。誤った政策のツケを国民に押しつける値上げは反対。

常任委員会報告

予算決算委員会

3月8日、11日及び12日の3日間にわたり関係当局の出席を求めて説明を聴取しながら、慎重に審査しました。

令和5年度一般会計補正予算では、交付金、負担金の増減などに対し質疑がありました。

本委員会における採決状況は、一般会計補正予算は賛成多数で国民健康保険、後期高齢者医療、町営墓地特別会計の3議案は全会一致で原案を可決しました。

令和6年度一般会計では基幹業務システム標準化対応事業、母子健康事業DX化事業、教育施設の整備事業などの説明がありました。

令和6年度一般会計、介護保険特別会計及び公共下水道事業会計の3議案は賛成多数で、その他6議案及び令和6年度一

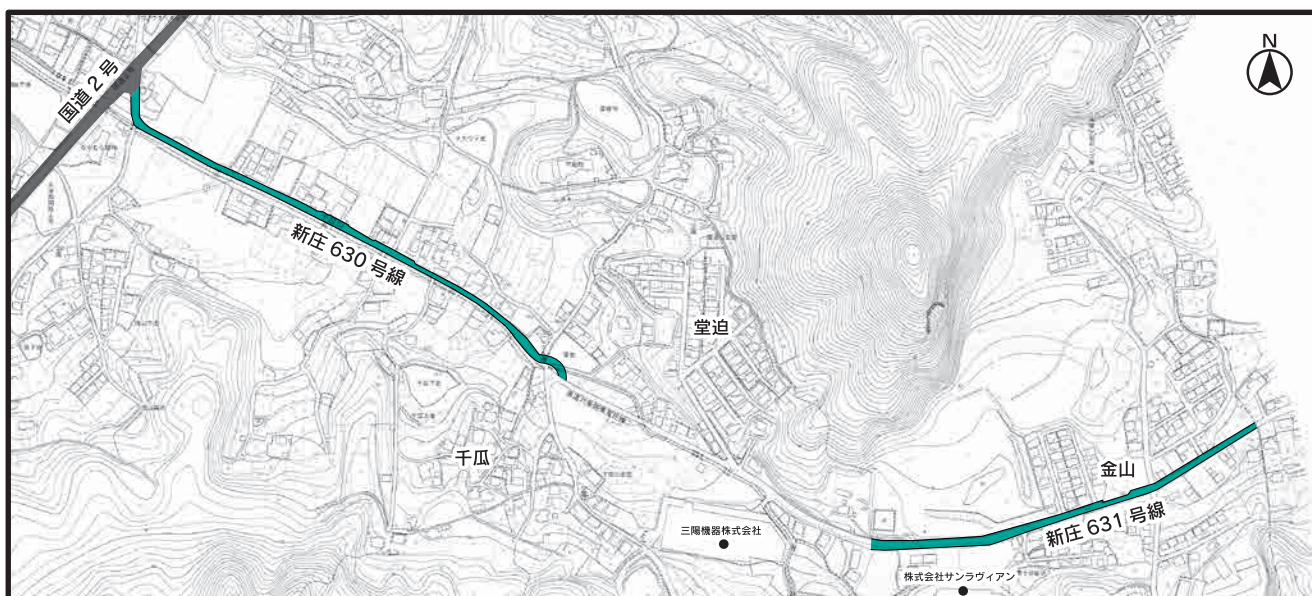
般会計補正予算は全会一致で原案を可決しました。

建設福祉委員会

3月7日、農林建設課の案内のもと、現地調査・確認を行い、その後慎重に審査しました。

県道六条院東里庄線の一部、玉島笠岡道路のアクセス道路として県が整備中で完成後、里庄町が移管を受けて管理する予定の路線です。

供用開始前に引き継ぎ区間の補修をしてもらい、県と町が確認し、管理を引き継ぐ予定と協定書において既に決まっているという説明がありました。審議・採決の結果、本案は全会一致で可決しました。



質疑

譲渡後の交付税は

仁科英議員 町道認定後、玉笠道路が開通するまでは県道と重複するが、管理は県がするのか。

農林建設課長 認定後、補修する場所など県と町で覚書を交わし、話し合った上で、認められれば移管になるが、それまでは県のほうが管理をする。

仁科英議員 譲渡を受けた場合、管理費として交付税はいくら入るのか。

総務課長 供用開始後、翌年度から年間約57万円入る。

仁科英議員 県道だから県有地だと思うが、町道になったら町に譲渡を受けるのか。

それはいつなのか。

農林建設課長 玉笠道路の完成期に合わせて今の県道を確認をして、補修場所など整理をして、移管を受ける。

基本的には里庄町の道路管理になる予定で話を進めている。

請 願

国民のいのちと健康を守るため、政府の責任での医療・介護事業所への支援を拡充とケア労働者の賃上げや人員増を求める請願書

賛 成 1 : 8 反 対

請願主旨

公定価格で経営している医療・介護事業所は物価高騰分を価格に転嫁できず、賃上げに必要な財源確保が困難。そのため、政府の責任で医療・介護事業所で働く労働者の賃上げと人員確保及び、医療・介護事業所への物価高騰支援策の拡充を求めるもの。

建設福祉委員会審査

令和5年12月の定例会で継続審査となり、その後2月1日、26日、3月7日、合わせて3回にわたり審議を重ねその間請願者である岡山県医療労働組合連合会に再度の出席を求めると共に委員各自が収集した資料を持ち寄り審議、3月7日委員全員出席のもとに最終的な審議と採決を行った結果、全会一致で不採択すべきものと決しました

ここが賛成！

医療・介護事業者への支援を

佐藤耕三議員

医療や介護事業者で働く人の賃金はほかの業種と比べてかなり少ない。国の責任において働く人の賃上げと人員増を求めていくことは当然。

請 願

心身障害者医療助成制度の精神障がい者への適用に関する里庄町独自での実施についての請願

全会一致で賛成

請願主旨

精神障がい者への医療助成については、実施する自治体への補助金付けが岡山県議会で採択され2年が経過しても未だに予算化されていない。

精神障がい者の実態を鑑みれば、その実施は一刻の猶予もない。

県に対し補助金交付の要望を継続しながら里庄町においても、この制度の適用を早期に実施してもらいたい。

建設福祉委員会審査

3月7日、紹介議員に出席と説明を求め、審議しました。

県においても令和7年度からの導入の動きもあり、せめて1級の人のみでもというに内容であることから、本町としても単独でも手を差しのべるべきとの意見に集約され、採決の結果全会一致で採択すべきものと決しました。

ここが賛成！

精神障がい者にも医療費助成制度を

岡村咲津紀議員

精神障がい者だけ認められていない医療費助成制度を町単独で実施してほしい。当事者にとっては3割負担の支払いは非常に困難。早急な対応を。

賛否表

○…賛成 ×…反対 欠…欠席 —…本人議案のため賛否に加わりません

賛否表

議案名		議員名	平野敏弘	岡村咲津紀	眞野博文	仁科英麿	仁科千鶴子	佐藤耕三	田辺博樹	難波啓祐	岡本貴之	議決結果
定例会 3月	議案第4号	里庄町未来を拓くふるさとまちづくり基金条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第5号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第6号	介護保険法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第7号	里庄町営有料駐車場条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第8号	里庄町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第9号	里庄町介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	×	×	○	○	可決
	議案第10号	里庄町空家等の適切な管理に関する条例及び里庄町空家等対策協議会条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第11号	令和5年度里庄町一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	×	×	○	○	可決
	議案第12号	令和5年度里庄町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第13号	令和5年度里庄町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第14号	令和5年度里庄町営墓地特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第15号	令和6年度里庄町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
	議案第16号	令和6年度里庄町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第17号	令和6年度里庄町介護老人保健施設特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第18号	令和6年度里庄町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	×	×	○	○	可決
	議案第19号	令和6年度里庄町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第20号	令和6年度里庄町育英奨学資金給与特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第21号	令和6年度里庄町営墓地特別会計予算	○	○	○	○	○	×	×	○	○	可決
	議案第22号	令和6年度里庄町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第23号	令和6年度里庄町公共下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第24号	里庄町道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第25号	モーターボート競走の施行	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第26号	人権擁護委員候補者の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第27号	人権擁護委員候補者の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第28号	里庄町国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	×	×	○	○	可決
	議案第29号	令和6年度里庄町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	請願第3号	国民のいのちと健康を守るため、政府の責任での医療・介護事業所への支援を拡充とケア労働者の賃上げや人員増を求める請願書	×	×	×	×	×	○	×	×	×	不採択
	請願第1号	心身障害者医療費助成制度の精神障がい者への適用に関する里庄町の単独での実施についての請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

(注)議長は採決に加わりません。(賛否が同数の場合を除く。)

人事

人権擁護委員

里庄町浜中

藤井 弘子氏

人権擁護委員

里庄町新庄

渡邊 悦子氏

8人の議員が登壇して質問!

岡本 貴之 議員.....12P

- ① 町としての災害時への取り組みは

平野 敏弘 議員.....13P

- ① 職員の残業は
- ② 能登半島地震の対応は
- ③ 町道229号線の工事に伴う信号機は

岡村 咲津紀 議員.....14P

- ① 里庄町の『ふるさと納税』の現状とさらなる拡大

佐藤 耕三 議員.....15P

- ① 2018年の豪雨災害における現在の復旧状況は
- ② 公共施設整備は
- ③ 自衛隊への個人情報(名簿)の提供は

仁科 英磨 議員.....16P

- ① 里庄駅のエレベーター設置及び橋上駅化等は
- ② 里庄農協支店直売所の廃止問題等は
- ③ 新ごみ焼却施設及び熱処理施設への地元雇用促進の要望は
- ④ 毎週複数回町外に通院している方の交通費の節約支援策を

仁科 千鶴子 議員.....17P

- ① 浜中バイパスの影響は
- ② 荒廃地対策として地産地消の給食を

難波 啓祐 議員.....18P

- ① 自治体におけるAI(Artificial Intelligence)の導入は
- ② 部活動の地域移行は
- ③ 認定スクールトレーナーは

田辺 博樹 議員.....19P

- ① 教育無償化は
- ② 中学生への近・現代史教育は

※一般質問の原稿は質問者が作成しています。

3月定例会

一般
質問

町
政
を
問
う

避難所の備蓄は

総務課長／町内3カ所での分散備蓄を

実施している



岡本 貴之 議員

令和6年1月1日に発生した能登半島地震では、多くの人が被害を受けた。

家屋の倒壊・道路の隆起・落橋などが発生し、至る所で通行止めとなり、人命救助や物資輸送に大きな影響を及ぼした。

問 避難する際に安全に移動できる、また避難後の物資搬送時に支障のない様、町内の避難場所までの幹線道路の電線を地中化する考えはないか。

農林建設課長 無電柱化については自然災害の影響を受けにくくなり、電柱や配線が倒れたりするリスクを低減し、支援物資の効率的な供給や迅速な救助活動、避難経路

の確保、電力、通信インフラの保護など多くのメリットがあるものと承知している。

しかし、国土交通省によれば、1キロメートル当たりにかかる整備事業は約5億3000万円必要となる。電線管理者の費用負担や国の補助制度などを活用した場合、町の負担額としては約1億6000万円ほど負担することになる。

現時点においては、地中化を進めることは困難である。

問 真備災害の際に、町も各所で土砂災害を受けた。

土砂崩れの可能性のある地域から土砂対策に取り組む必要があると思うがどうか。

農林建設課長 町では、令和2年3月に町内の土砂災害特別警戒区域や急傾斜地崩壊危険区域などを示した防災マップ及び土砂災害ハザードマップを各戸に配布をしている。

自身が住む地域の状況を確認してもらうと同時に、戸別受信機などにより情報を察知してもらい、避難をお願いしたい。

問 避難所の設備の備蓄は、どのように準備や保管をしているのか。

総務課長 備蓄している災害用備蓄品は、南海トラフ地震が発生した場合に想定される被害に基づき算出した必要数の備蓄を進めている。

また、災害用備蓄品の保管は、フロイデ、東公民館及び仁科会館の町内3カ所での分散備蓄を実施している。

問 各避難所は何人を収容できる想定で準備をしているのか。今すぐには確認できない。

総務課長 それぞれの避難所に備蓄している食料の数は、仁科会館500、東公民館500、総合文化ホール3000。置けるスペースにもよるが、生活用品など分散して避難できる体制を整えている。

問 避難所での生活が困難な高齢者や人もいると思う。そういった人が町内の老人施設などにも簡易的にでも避難できるような環境はつくれないか。

総務課長 現在、一般の避難所での生活が困難な高齢者などについては、福祉避難所を開設することとしている。福祉避難所は町内に2カ所あり、介護老人保健施設里見川荘と四つ葉の家となっている。

里見川荘は要介護状態などの高齢者、四つ葉の家は障害のある人を対象としている。

現状の施設だけでは不足することも考えられるため、民間の施設などの利用も研究していく必要がある。



写真はイメージです

災害に備えて



職員の残業時間は

総務課長／月100時間超は2人

問

月100時間を超えると過労死ラインと聞いているが、一番多い職員は、何時間残業しているのか。

総務課長

月100時間を超えているのは、令和5年度で2人いる。

問

残業代は、適正に支払っているのか。

総務課長

実際の勤務時間と時間外命令簿の記載内容に乖離がある場合は、所属長が指摘するなどして適正な支払いに努めている。

問

日付が変わっても残業している職員はいるのか。

総務課長

時期的なものや業務の締め切り等もあるため、日付が変わってしまうこともあるが、何日も続くということはない。

水道管耐震化率は

上下水道課長／耐震化率は約15%

問

里庄町では、災害自治体に何人職員を派遣したのか。またどのような業務に従事したのか。

総務課長

富山県氷見市に職員1名を派遣した。罹災証明の発行業務に従事した。

問

募金箱の設置場所はどこか。

総務課長

中央公民館、役場庁舎1階及び2階に設置している。

問

町の募金総額はいくらか。

総務課長

2月28日時点で約263万円となっている。



避難訓練(自主防災)

問

能登半島地震では水道管が寸断され、飲料水の確保が大変だったと報道があった。里庄町の水道管の耐震化はどのようなになっているのか。

上下水道課長

管路の耐震化は、平成18年から実施しており、令和4年度完了予定であり、現在の耐震化率は、約15%となっている。

問

町道229号線の工事に伴い信号機を設置する。役場方面から来た場合、右折レーンを設置しないのか。

農林建設課長

現在のところ予定はない。

問

渋滞すると抜け道を求めて生活道路に車が殺到する可能性がある。

農林建設課長

近くには小学校や幼稚園もあって大変危険だが、その対策は。生活道路の通り抜けについては、看板設置などで周知したい。

右折レーンの設置は

農林建設課長／現在のところ予定ない

寄附金の活用は

総務課長／町政全般の財源

問

町のふるさと納税寄附額は、今年度過去最高の約5億円以上を見込んでいる。ふるさと納税とはどのような仕組みなのか。

問

利用率が高いサイトの寄附額と件数は。

令和4年度は、ふるさとチョイス、楽天ふるさと納税、ふるなび、さとふるなどの4サイトで約85%、約3億6200万円。

企画商工課長 寄附をすると住民税の控除や所得税の還付を受けることができる。

企画商工課長 令和4年度は、ふるさとチョイス、楽天ふるさと納税、ふるなび、さとふるなどの4サイトで約85%、約3億6200万円。



里庄町ふるさと納税返礼品(一例)

問

人気の返礼品は。

企画商工課長 フリーズドライ商品、木工製品、桃、ブドウ、スイーツなどである。

問

生鮮食料品などの返礼品のクレーム対応は。

企画商工課長 仲介事業者に委託している。

問

昨年、町内の飲食店で行われた藤井空さんライブの寄附件数と参加人数は。

企画商工課長 寄附件数は53件、参加人数は101人であった。

問

返礼品や事業者の選定方法は。

企画商工課長 回覧やホームページなどで、協賛事業者を随時募集している。

岡山県共通返礼品を取り扱う町外の事業所には、直接出向き開拓を行う。提案された品が返礼品基準に合っているかを町が審査し決定している。

問

寄附金の活用は。

総務課長 令和4年度は、子ども医療費給付、保育園運営費補助、高齢者タクシール料金助成、幼・小・中学校への生活支援員配置、学校用パソコン購入、公共下水道整備、駐車場整備、水路な

岡村咲津紀 議員

問

ふるさと納税の額が毎年更新されている。

職員は業務負担が大きくなっていないか。

企画商工課長 業務内容は多様化する傾向にあり、中間事業者など委託できる業務は委託を行い、限られた職員で効率的に業務を行っている。

職員は、各寄附受付ポータルサイトや決済会社との契約、支払い事務、既存協賛事業者の対応、新規協賛事業者の開拓、掲載する返礼品の説明内容などのチェック、ワンストップ申請の受付、寄附者からの問合せ対応、プロモーションの検討、実施などを行っている。

問

総務省が昨年10月に基準を改定した。

町はどのような対応をしているのか。

企画商工課長 寄附金額の費用を5割以下にするよう制度の改正が行われた。

返礼品費用の割合を上限30%から25%に変更。これに送料や決済手数料、中間事業者委託料、プロモーション費用、寄附金受領証明書の発行事務に要する費用、ワンストップ特例に係る申請書の登録事務に要する費用などを含め、国が示した5割のルールを遵守し、寄附を受け付けている。

佐藤 耕三 議員



ハザードマップ作成留意点は

総務課長／色表現をわかりやすく

問

2018年豪雨で崩れたつばきの丘公園の補修は、どのような形で完了するのか。

農林建設課長

基本的に崩れたを組み吹きつけ等を行う。10月末頃に全面復旧できるような進めている。

問

美しい森、ビジターセンターは今後どうするのか。

農林建設課参事

美しい森は現在毎月1回程度巡回、監視している。今後の対応も同様。

ビジターセンターは、以前も今後検討すると答弁しているが、引き続き研究していく。

問

ハザードマップを作る際の留意点は。

総務課長

災害により逃げ方も変わるので、色や表現を分かりやすい様に心がけている。

改修費用の工面は

町長／基金を創設し準備

問

公共施設整備計画では施設の改修、建て替えに水道を含め約300億円かかる。

現在、耐震基準を満たしていない公共施設はあるのか。

総務課長

現在の耐震基準前に建設し耐震補強等実施していない施設は8施設。

問

300億円の費用の工面は非常に厳しいが、町長の考えは。

町長

起債状況、補助費、補助費の伸びを勘案すれば財政的に厳しい状況は今までと変わらない。

その中で今回、基金を創設し将来に向けて準備をしていきたい。歳入の確保と歳出のできるだけ抑制も図りながら取り組んでいきたい。



改修工事中のつばきの丘運動公園

名簿提供やめるべき

町長／できることは協力

問

2022年度、自衛官募集のため名簿や宛先のシールなど自衛隊に提供した自治体は全国で6割を超えている。

里庄町でも以前、名簿は閲覧のみだったが今は宛名入りシールを送っているがなぜか。

町民課長

閲覧に比べ個人情報情報の漏えいや不正利用のリスクを抑えることができるため。

問

個人情報の提供は可能としていくだけで強制ではない。名簿提供をやめる考えは。

町民課長

できることは協力していきたい。

問

名簿の提供を希望しない人に対し、除外申請の手続きをすることで名簿の提供をしていない自治体もあるが、里庄町ではどうか。

町民課長

里庄町では、実施していない。提供をやめてほしいという申し入れもない。

問

除外申請は、目に触れるところに載せてなければ希望者がいるかもわからない。提供を望まない人の除外申請は必要では。

町民課長

現時点では、実施の予定はないが近隣の動向を見ながら研究していきたい。

町長

法的に問題がなければ今までもおり続けたが、状況が変わればその時対応していきたい。

南北通り抜け工事もすべき

町長／基本構想策定の中で考える



仁科 英磨 議員

問

今回提案されている里庄駅周辺

地区バリアフリー基本構想策定業務、駅関連施設整備検討業務等、2000万円の予算は、駅のエレベーターの設置と、橋上駅、南北通り抜け北側の広場の整備なども含めて検討するものとの理解で間違いないか。

考えが広がった経緯と、今の考え方を伺う。

町長

駅周辺のバリアフリー化という

ことで取り組んでいたが、エレベーターの設置を優先すべきとの強い意見があった中で、橋上化なども含めて、JRとの協議、町の費用負担、北側の地形の問題なども考えて、どこまで整備できるのか、

今後慎重に検討していく考え。

バリアフリー法が改正されたことから、駅を中心に生活関連施設を含めて、面的に考えていく必要が出てきた。

問

ケース別に、工事費の概算額は、

- ①エレベーター2つだけ
- ②橋上化（南北通り抜け）
- ③北側に広場も整備
- ④南側の広場も整備
- ⑤駅南側の区画整理も
- ⑥通り抜けなどの地下化

町長

現時点では、全く分からない。

問

去年5月完成の津山駅は、エレベーター3つで4億8千万円、山口県和木駅は8

億円、鴨方駅は2号線をまたがって降り口、エレベーターをつけて20億円。里庄で、橋上駅化した場合、南北通り抜けにした場合の費用効果は、全く分からない。

問

駅に北側から入れるようになるれば、平均10分縮む。

1人往復1日に20分、時給1500円とすると、年間18万円、50年間使うと900万円の節約。

1日の乗降客2000人のうち、北側の人が半分、6割なら、50年間で50億円の効果。

工事費20億円かかって、20年間で元が取れる。1年遅れたら1億円の損

町長

だから、どうせやるなら早い方がいい。

エレベーターの設置と同時に、最低でも南北通り抜け工事すべきでは、基本構想策定の中で考えていく。

町の音頭で検討の場を

町長／そういう考えはない

問

農協本部の幹部から里庄直売所を廃止するとの話があったが、私は強く反対した。

理由は、四百数十万円の赤字だからとのこと。

その後、時間短縮の提案に変わったが、この問題に対する町の方針は、

農林建設課 参事

大変憂慮すべき事態だと考えている。ただ、農協から何ら方向性が示されていないので、町から申し出ることはできない。

問

今町内には大きなスーパーがなく、小売中堅の食料品店も役場の周辺にはないので、この地域に何か欲しいという声はあるし、私もそう思う。

そういう状況の中、赤字だから引き揚げると言われたら、そこは行政が穴埋めするしかない。

私は、生鮮食料品なども入れてミニスーパーにした方がいいのではないかと、どうか。

農林建設課 参事

今後農協から方向性が示されたら、協議し、考えたい。

問

聞いただけで方向性が示されないから検討しないというのは、消極過ぎないか。

地元の消費者、営業の専門家、出荷者、必要なら農協の人も入れて、町が音頭を取って、検討する場を設けられないか。

町長

そういう考えはない。

その他の質問

Q 金山の新しい焼却施設等に対し、地元からの雇用の要請を

A 専門職種等以外は、全て構成市町からの雇用とする旨の提案あり

Q 毎週複数回町外に通院している方の交通費節約支援策を

A 四つ葉の家管理の福祉車両が使用可能・透析の通院には、補助的なものも検討

仁科千鶴子
議員



右折レーンを伸ばして

農林建設課長／県に情報提供する

浜中バイパスが供用開始して一年。

一年経ち、中央のポストコーンが撤去され、浜北からバイパスに進入できると説明があった。

問 開通して、交通混雑は緩和されたのか。2号線、県道、町道はどうか。

農林建設課長 2号線については、分からない。

2号線の混雑を避けるため、里見229号線は35%増。西小学校前の町道は午前7時と午後3時から各1時間は、30%減少している。

問

浜中団地から2号線に向かう交差点は、渋滞している。右折レーンを伸ばす、または信号機右折の矢印の時間を長くすることはできないのか。

農林建設課長

渋滞が激しいことは認識している。道路管理者である岡山県に、信号の件も含め、情報提供する。

問

国道2号線の浜中北信号を東の十字路に移設または、新設するか町の意向は。

農林建設課長

国との協議の前に、地元それぞれに、その総意、了解なしにはできない。協議を進めていく。

問

里西小学校前の町道16号線は、通学路であり危険性がある。そのままか。

農林建設課長

通学路の時間帯は、交通量は減少している。対策はしているが、危険であるので状況を随時確認をしながら、対策をしていく。

問

側溝に蓋はできないのか。筆界未定の問題があり、問題解決後少しづつやりたい。

農林建設課長

地産地消の給食を

教委事務局／さまざまな条件に
適応が必要

少子高齢化が進み、農地の管理ができず、荒廃地が年々増えている。

問

同好会が解散し、まこもたけ農園はどうなるのか。

農林建設課参事

令和5年度から別の生産者が引き継いでいる。

問

農地の管理ができなくなった人、農業をしたい人の数は把握しているのか。

農林建設課参事

人数把握はしてない。農業委員会から、岡山県農地中間管理機構へ情報提供し、農地の貸し借りマッチングにつなげている。

問

荒廃地で作つてもらい、地産地消の自校給食は考えないのか。

教委事務局長

地元で作られている、旬の野菜は食育につながり、いいことだと思う。

反面、安全・安心の給食を提供しないといけないので、さまざまな条件に適用しなければいけない。

問

給食に地産地消の食材を取り入れる話は、今までなかったのか。

教委事務局長

給食委員会で進めており、マコモタケを取り入れている。今後もしていきたい。

問

荒廃地をなくすためにも学校給食の地産地消事業ができればいいが、一番のネックは、食材の規格、納品は8時まで。

どう考えるか。

教育長

マコモタケについては、今後も使っていきたい。

食品の納入時間は、給食が作れないということで、制限があり、安全を考えた日と決めている。3業者の人には、非常にいい品を入れていただき、感謝している。



地産地消

AI（人工知能）の導入を

総務課長／将来的には必要

問

現在AIを導入している部署、教育機関はあるのか。またどんなことができるのか。

またどんなことができるのか。

総務課長

現在は自動文字起こしシステムを導入している。各種会議、オンライン会議での議事録作成や、議事の要約を行うことができる。

問

チャットGPT、RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）を来年度から導入する予定はあるのか。

総務課長

矢掛、早島、里庄の職員で研修を行い、どんなことができるか研究中。

問

導入するにあたって課題、メリット、デメリットは何か。

機密情報、個人情報保護を確保するためのセキュリティ対策が備わっており安心安全な環境で利用できる。

総務課長

メリットとしては、作業の効率上がり、業務時間が短縮できる。デメリットは多額の費用が発生する可能性がある、運用するには、専門知識や技術的な能力が必要になる場合がある。

問

専門的な技術、知識を持った人員が必要なのか。

今現在は、どういうものにRPAを使っていくかを研究中で、ある程度の知識を持った人材は将来的には必要と考える。

総務課長

今現在は、どういうものにRPAを使っていくかを研究中で、ある程度の知識を持った人材は将来的には必要と考える。

問

導入費用について国からの支援はあるのか。

業務効率化を目的としたシステム導入には支援はない。町民の利便性が高まる事業には、デジタル田園都市国家構想交付金がある。

総務課長

業務効率化を目的としたシステム導入には支援はない。町民の利便性が高まる事業には、デジタル田園都市国家構想交付金がある。



難波 啓祐 議員

部活動の地域移行は

教育長／可能な限り地域移行を考える

問

里庄中学校において、現在外部コーチ、あるいは外部団体に指導を委ねている部活動はあるのか。

柔道部、剣道部、弓道部が外部指導員にお願いしている。

教委事務局 長

問

地域移行制度は、里庄中学校では必要なのか。

部活動の中には希望する生徒が減少し、廃部になったものもある。子どもたちがさまざまな環境で、スポーツや文化芸術活動に参加するには地域移行をする必要性はあると考える。

教委事務局 長

部活動の中には希望する生徒が減少し、廃部になったものもある。子どもたちがさまざまな環境で、スポーツや文化芸術活動に参加するには地域移行をする必要性はあると考える。

問

これらの指導者の人たちへの報酬はどうなっているのか。

国、県からの補助金を使い、1時間1600円をお願いしている。予算額は3つの部活動合わせて約180万円である。

教委事務局 長

問

数年後に向けてどう考えるのか。文部科学省も地域移行は令和5年から令和7年を改革の期間と推進している。可能な限り平日も含めて地域移行を考えていきたい。

教委事務局 長

数年後に向けてどう考えるのか。文部科学省も地域移行は令和5年から令和7年を改革の期間と推進している。可能な限り平日も含めて地域移行を考えていきたい。

その他の質問

Q 小中学校において理学療法士による運動器検査チェックはやっているか。

A 毎年春の健康診断で、骨、筋肉などの様子を校医の先生に診てもらっている。

Q 健康診断の時だけではなく、体育の時間とか先生方に対しても講義ができるのではないか。

A この制度については十分把握できていないというのが現状。この制度をもう少し把握してから考えていきたい。

田辺 博樹議員



義務教育無償化を

町長／完全無償化の考えはない

問

日本国憲法第26条に、全て国民は法律の定めるところにより、その能力に応じて等しく教育を受ける権利を有する。その第2項として全て国民は法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負う、義務教育はこれを無償とする。とある。

これが日本国憲法における義務教育無償化の条文である。

町内小・中学校保護者の負担する教育費、前年度総額は。

令和4年度保護者から徴収した教育費総額は970人分で約8612万円。

問

給食費の前年度総額は。

保護者の給食費負担総額970人分で約5269万円。

問

最近の小中3校、修学旅行、個人負担費用の総額は。

令和4年度は211人分で約1008万円。今年度は191人分で約861万円。

問

義務教育完全無償化の見通しは。完全無償化の考えは現時点ではない。

町長

ない。

問

里庄町はふるさと納税の収益金が相当ある。これを義務教育費に充てるのは。

町長

現時点で財源として活用することとは考えてない。

中学生の

近・現代史教育は

教育長／学習指導要領に基づいて

問

1930年代から40年代に戦われた日中戦について中学生にどのような教育をしているのか。

学習指導要領では、日中戦争については軍部の台頭から戦争までの経過、その後の大戦が人類に惨禍を及ぼしたことを理解すること、国際協調、平和の実現に努めることが大切であると気づかせることが重要とある。

教委事務局長

問

靖国神社のことは教科書に記載してあるのか。

教科書、学習指導要領や指導資料集にも記載はない。

教委事務局長

問

戦争主導したA級戦犯が靖国神社に祭られていることを中国はどれほど嫌がっているのか。

教育長

学習指導要領の狙い、目的が達成でき、子どもたちが豊かに成長できるよう粛々と進めていく。



英霊ここに安らかに眠れるか

シリーズ こんな活動 しています!

第14回

文化協会にフォークダンス部が発足して、なんと27年になります。戦後まもなく、日本にフォークダンスが紹介され、数多くの素晴らしいダンスや音楽が生まれ継承されています。私の学生時代もフォークダンスが盛んになり、小学校の運動会で初めてフォークダンスに出会ったように思います。シニアになった今でも世界各国の音楽に耳を傾け「医踊同源」という言葉のように、軽いステップを踏みながらの健康づくりの日々を送っています。発表会やパーティーでは、年を忘れて可愛い衣装に身を包み、普段の練習の成果をお披露目しています。

里庄町文化協会 フォークダンス部

皆んなで大きな輪(サークル)を作り、体力づくりをしませんか?
例会会場は福祉会館大ホールです。
活動日は毎週木曜日(健康フォーク)と、第1、第2週の金曜日、第3、第4週の月曜日(フォークダンス・マズルカ)の9時30分～11時30分迄2時間、楽しんでいます。都合の良い日に、ぜひお越し下さい。会員一同、お待ちしております!



《第116号》

令和6年4月30日 発行

発行／岡山県 里庄町議会
〒719-0398
岡山県浅口郡里庄町
TEL(0865)64-7217
FAX(0865)64-3618

編集／議会広報編集委員会

E-mail:gikai@town.satosho.lg.jp

●あとかぎ

真実一路

真理の光はよく遮られるが、消えることはない(リウウィウス 紀元前59～17 ローマの歴史家) この偉人の言葉を噛みしめながら、議会はいかにあるべきかを求めて邁進してまいります。

町民皆様の率直なご意見も頂きたいと思います。

(田辺)

編集委員 委員長: 佐藤耕三 副委員長: 岡本貴之
委員: 仁科千鶴子 委員: 田辺博樹 委員: 難波啓祐



令和6年6月定例会は、5月31日(金)から始まる予定です。